

2015年12月2日

事業所長の意見交換会

石油化学工業協会

経営層の保安への関与の強化として、本年度は、現場に最も近い経営層である事業所長の保安に関する意見交換会をコンビナート地区で行う計画としており、第1回目を安全工学会と共催で四日市にて下記の通り行った。

記

1. 日時 2015年10月5日(月) 14:00-17:00

2. 場所 四日市 都ホテル

3. 目的

四日市コンビナートにおいて保安の向上に日々努力している石油精製・化学系企業のトップにお集まりいただき、企業・業種の壁を越えて保安に関する意見交換を図ることで相互のレベルアップを図る。

4. 参加者

企業	出光興産(株)	山元製油所長
	東ソー(株)	村重事業所長
	コスモ石油(株)	岩田製油所長
	JSR(株)	中澤工場長
	昭和四日市石油(株)	丸山製油所長
	三菱化学(株)	大久保事業所長

安全工学会 伊藤会長

石化協 唐津保安・衛生委員長、岩井専務理事

事務局 神田氏(安全工学会)、岩間(石化協)、
三菱化学(株)四日市事業所関係者

5. 内容

初めに、唐津委員長の司会により、自己紹介、石化協制作の安全メッセージビデオの視聴、意見交換会の趣旨、進め方などについての説明が行われた。

トップコミットメント/メッセージに関する工場トップでの取り組みについての意見交換から始まったが、次第に、保安安全のためには人材育成が最大の課題であるとの認識から、以下の4項目についての議論に収斂した。

(1) 業務のありかた

保安安全の確保のためのキーである現場課長への過度な業務集中を是正し、課長が現場の要として適切に運転管理、設備管理を行うことができる体制への取り組み。

(2) マインドの教育

保安安全の確保のためには、技術面だけではなく、仕事にやりがいを持ち、使命感を持ち、価値観を共有し、知識を実際の行動に結びつけることのできる自覚（マインド）を持った人材を育てる職場づくりへの取り組み。

(3) 体感教育

長期連続運転、トラブルの減少、新たなプラント建設機会の減少から、設備操作、化学物質の取扱いを実体験する機会が減少している。知識を教えるだけではなく、それらを具体的に体感する教育推進への取り組み。

(4) 設備管理技術

設備管理に必要な幅広い知識、経験などを持った、設備管理システムの専門家育成への取り組み。

以上